

年 度 評 価 シ ー ト （令和6年度）

課名 商業労政課

施設の名称 静岡市東部勤労者福祉センター	指定管理者名 (公財) 静岡市まちづくり公社
1 履行状況	
(1) 目標達成 ア 利用者数 目標値270,000人、R6実績値196,267人（前年度182,999人） （前年度比107.3%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値185,253人、+5.9% (2) 人員配置状況 2階（貸館・事業関係）正規職員4人、嘱託員2人、パート7人、夜間勤務者4人 4階（フィットネス） 正規職員1人、トレーナー（パート）2人、パート21人 (3) 事業実施状況 静岡市勤労者福祉センター条例第18条の規定に基づき、条例第22条各号に掲げる東部勤労者福祉センターの管理（以下「管理業務」という。）について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 ア パソコン講座 目標値21講座/年、420時間以上、1講座1回あたり2時間 実績値（指定講座）21講座、420時間 （自主講座）12講座、186時間 Microsoft Office系、資格取得系の勤労者向け講座の開催に努めており、受講講座を迷う受講生には類似講座への案内などの導線管理もなされている。 イ 一般教養講座 目標値20講座/年、400時間以上、1講座1回あたり2時間、短期講座10項目 実績値（指定講座）20講座、447時間 （自主講座）4講座、36時間 （短期講座）18講座、1,532名参加 余暇利用は休日、資格取得は平日夜間、などのように講座の種類に応じて開催日を設定、勤労者の受講率向上に努めている。 ウ フィットネス講座 （スタジオ講座）目標値：年間500時間以上、1講座1時間 実績値：1,398時間（252講座）	

フィットネス種類の入替や時間帯の変更を行うと共に体験会を実施し利用 者要望や最新種目を提供、1講座当たりの受講生が前年度より平均6名増加して おり受講率向上、静岡市スポーツ推進計画のスポーツ実施率向上に寄与している。 (プール講座) 目標値：年間400時間以上、1講座1時間 実績値：392時間(88講座) フィットネス同様種目の入替、時間帯の変更、体験会を行ったが、1講座当 たりの受講生は昨年同様となった。 令和7年1月プールろ過ポンプの故障により一時的なプール休館期間があつた ものの目標値の98%を達成できた。 【検証・分析等】 以上のとおり、おおむね目標値は達成され、指定管理者が利用者に対する要望に 応じた工夫も見られることから、利用者のニーズに対する講座の提供は十分になさ れているといえる。 【確認結果】 ○：協定書の内容が適正に履行されている。 利用者数の目標値は未達だが、これは、コロナ禍における会議等の形態がオンライ ン化等多様化したこと、会議等の定員数を少なくする傾向が現状も続いている中で、 前年度比7ポイント以上の利用者数が増加していることから適正な履行されている。
2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応 等) 【具体的な意見・要望の内容と対応状況】 意見等：室内の臭いが少し気になります。(5F-音中1) 対応：小型のオゾン発生機を設置、利用前に消臭スプレーを使用、営業終了時は扉を 開放して換気するなどの対策を講じている。しかし音楽練習室は防音の為、排煙窓も なく湿気や臭いが逃げにくいのも事実であり、臭気が気になるという人はいる。空調 による機械換気などの更なる対策を講じ、室内クリーニングやカーペット等の張替え などの対策について、方法を検討中である。 【検証・分析等】 利用者からの意見に対して、即時、対応可能なものについては迅速な対応がなされて おり、対応が困難なものについても、上記のような対策を行い、工夫をして対応してい る。 【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は現状の問題点を踏まえ、改善に向 けて積極的に取り組んでいる。 3 市民(利用者)へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設利用者に対し、手続きや職員対応の満足度のアンケート調査を実施。
「満足」「やや満足」等と回答した人数814人（回答者数825人、98.7%）

【検証・分析等】

利用者の施設サービス満足度は高い。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

施設の利用者に限定せず、一般市民を対象として、外部団体主催のイベントにて
施設の認知度に対する意見等を求める調査を実施。

ア 対象者

市内4か所で開催されたイベント

（対象者居住地：葵区18.6%、駿河区26.9%、清水区33.9%、その他15.2%）

イ 当該施設を知っていると回答した人

235人（回答者総数499人、47.1%）

【検証・分析】

市民アンケートでは、施設の認知率は47.1%と、まちづくり公社の管理する施設の中では比較的高い水準となった。今回のアンケート対象イベントは4カ所のうち2件が清水区で開催されたこともあり、回答者の居住地は清水区の比率が高く、清水区在住の市民が33.9%を占めていた。この点を踏まえると、認知度は一概に高いとは言えないが、概ね良好な結果であったと評価できる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

収入状況は穏やかに回復の兆しを見せていたが、年度当初の貸館予約を仮予約としていたこと、勤労者福祉施設におけるパブリックコメントでのフィットネス場・教室廃止案などにより、11月以降ホール貸館減少、フィットネス施設の利用者減少などにより前年度を3ポイント下回る収入状況となった。

支出状況では、最低賃金の上昇などによる人件費及び電気料等における光熱費の増加がみられたが、消耗品や委託料の抑制、自主事業における収支改善により全体としての収支状況は前年同水準にとどめることができた。

【確認結果】

○：指定管理業務についての収支状況については、概ね予算のとおりに執行されており良好である。なお、市による勤労者福祉施策の見直し検討がされていることから、新規・既存利用者等へのアプローチが行えない状況及び人件費・光熱費・物価高騰による経費負担の増加により引き続き厳しい状況が続いているが、支出の抑制を行うと共に自主事業での収支改善が行われており、更なる改善に期待したい。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

施設の管理運営については、事業計画等に基づき適切に実施され、施設設備の経年劣化による故障等においても迅速に対応し施設運営への影響を最小限に留める努力が伺え、施設は良好な状態に管理されている。また、講座運営においても受講者、市民ニーズを反映した内容としており、受講者の満足度も高く、総括して良好な施設管理運営がされている。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。